

農研機構 令和6年4月1日採用 若手任期付研究職員再公募課題一覧

公募番号	研究部門・センター等	領域等	勤務地	課題名	業務内容・キーワード
N618	中日本農業研究センター	水田利用研究領域	新潟県上越市	冬季多雪重粘土水田の畑地利用に向けた高度土壌水分制御システムの開発	(1)土壌や作物等の各種センシング技術を利用して土壌改良を実施し、作物収量のセンシングによる評価結果と合わせて、データ駆動型の土壌水分制御技術等の開発を行う。 (2)土壌水分制御技術等の開発により環境にも配慮した高収益輪作体系の構築に向けた技術開発を行う。 【キーワード】土壌、作物、センシング、水田輪作
N620	西日本農業研究センター	中山間営農研究領域	広島県福山市	AI手法等のスマート技術を用いた高品質麦類の評価・選抜技術の開発	実需者や消費者のニーズに合致した高品質な麦類の品種育成を加速化するため、以下の研究を担当する。1)赤かび病等の病害の発病程度、原麦や加工品の品質・特性等を画像解析や機械学習などのスマート技術を用いて評価する手法の開発、2)遺伝子マーカー選抜・半数体育種法などの育種の効率化に有効な既存技術の改良。 【キーワード】麦類、育種、品質評価、AI、機械学習、画像解析、選抜手法
N637	農村工学研究部門	資源利用研究領域	茨城県つくば市	アジアモンスーンの気候条件に適合したスマートグリーンハウス(SGH)の開発	施設園芸は安全・安心・生鮮な農産物の安定供給に貢献しているが、台風・大雪・大雨・地震等による温室やパイプハウスの被災、夏季の高温抑制や冬季の暖房用燃料によるコスト高およびCO2排出、施設の大規模化に伴う環境ムラの作物の生育/収量/品質などへの影響という課題を抱えている。そのため以下の業務を行う。 (1)施設構造の強靱化と低コスト化のための力学特性や機能の解明 (2)夏季の高温対策や冬季の省エネルギーに対応した環境制御技術の開発 (3)主要環境要因(日射、気温、湿度、気流、CO2)を均一にするための計測/制御技術の開発 【キーワード】施設園芸、環境制御、センシング、省エネルギー
N638	農村工学研究部門	施設工学研究領域	茨城県つくば市	デジタル技術を用いた基幹的農業用施設の安全性および保全管理に関する研究	ため池等の基幹的農業水利施設を対象として、内部の損傷や異常を検知するためのフィールド観測や模型実験を実施する。これらのセンシング情報とデジタル技術を組み合わせることにより、迅速かつ簡易に基幹的農業水利施設の異常箇所の判定や挙動予測を行う技術や設計・施工・管理を効率化する技術等を開発する。 【キーワード】デジタル技術、農業水利施設、安全性、設計・施工・管理の効率化、保全管理